

2018年度 事業報告書

(自 2018年 4月 1日)

(至 2019年 3月31日)

公益財団法人 内藤科学技術振興財団

当財団は、2012年4月1日付で公益財団法人へ移行し、研究助成金交付事業を通じ、愛知県内における科学技術の振興と地域産業の発展に寄与することを目的として活動して参りました。

2018年度の助成事業は、保有株式の一定の配当金収入を期待することが出来、助成対象を12機関23件とし、助成金を1件あたり100万円と致しました。

【 2018年度助成事業概要 】

- (1) 助成件数及び金額 : 全23件、2,300万円 (100万円/件)
- (2) 助成交付式 : 2018年 6月11日
- (3) 助成対象 : 別紙による

2018年度 研究助成金交付者

公益財団法人 内藤科学技術振興財団

※氏名 五十音順

No	所属 ・ 氏名	研究課題
1	豊橋技術科学大学 機械工学系 青葉智弥	結晶粒形態と方位を制御した 超微細粒アルミニウム合金板材の開発
2	豊橋技術科学大学 環境・生命工学系 荒川優樹	第16族元素系ヘテロ環境構造を有する 屈曲型液晶分子群の創製と機能開拓
3	名城大学 理工学部 大原賢一	焦点情報に着目した内視鏡支援画像生成 に関する研究
4	名古屋市工業研究所 材料技術部 有機材料研究室 岡本和明	親和性によるフィラーの偏在化を利用した 強化複合材料の研究
5	名古屋工業大学 大学院工学研究科 電機・機械工学専攻 加藤慎也	シリコンナノ粒子を用いた膜厚10 μ m以下の 極薄膜結晶シリコン太陽電池の開発
6	名古屋工業大学 大学院工学研究科 生命・応用化学専攻 近藤政晴	セルロース由来の透明基材界面を反応場とする 光水素生産システムの開発
7	名城大学 理工学部 応用化学科 才田隆広	層状酸化物を経由した貴金属ナノシートコロイド 溶液の創製
8	名古屋工業大学 大学院工学研究科 社会工学専攻 佐藤篤司	軽量形鋼と乾式工法で構築される 建築構造システムの開発
9	愛知工業大学 工学部 電気学科 清家善之	スマートコンタクトレンズを目指した 有機薄膜太陽電池の低温作製技術
10	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 関口寛人	脳神経機能の解明に向けたプローブ型 高指向性青色 μ LEDデバイスの作製
11	名古屋大学 大学院工学研究科 情報・通信工学専攻 高橋桂太	深層学習を用いた高次元ライトフィールド処理の 高品質化
12	名古屋大学 大学院工学研究科 電子工学専攻 竹家 啓	非線形光学結晶とチェレンコフ位相整合方式を 利用した高強度テラヘルツ波発生光源の開発
13	豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 谷本 壮	酸素プラズマによる ダイヤモンドライクカーボン薄膜の高速除膜 に関する研究
14	あいち産業科学技術総合センター 三河繊維技術センター 製品開発室 行木啓記	ハロゲンフリー化合物ヘキサヒドロキソ白金 (IV) 酸を用いた触媒材料白金担持技術の最適化

2018年度 研究助成金交付者

公益財団法人 内藤科学技術振興財団

※氏名 五十音順

No	所属 ・ 氏名	研究課題
15	豊田工業高等専門学校 電気・電子システム工学科 野中俊宏	チタン酸バリウムを母体材料とする アップコンバージョン蛍光体の発光特性
16	あいち産業科学技術総合センター 食品工業技術センター 発酵バイオ技術室 間野博信	簡便で効率的なファージ抵抗性株の 突然変異論育成法の確立
17	産業技術総合研究所 磁性粉末冶金研究センター 平山悠介	熱プラズマ法を用いたThMn12構造を有する 最強磁石粉末の合成
18	名古屋大学 大学院工学研究科 宮田 玲	言語資源のカバレッジ予測モデルの構築と 多様なデータへの適用
19	愛知工業大学 工学部 応用化学科 宮本寛子	RNAナノテクノロジーを利用した 新規RNAナノ粒子によるゲノム創薬開発
20	産業技術総合研究所 構造材料研究部門 村上雄一朗	鋳造用アルミニウム合金からの 不純物分離技術の開発
21	愛知工業大学 工学部 応用化学科 村田剛志	多段階酸化還元性有機分子からなる 多孔質二次元ポリマーの合成と それを用いた有機二次電池の開発
22	名城大学 理工学部 メカトロニクス工学科 目黒淳一	高精度な運動推定結果の蓄積による 人間特性を考慮した車両制御の実現
23	名古屋産業科学研究所	販促マーケティング手法の利活用トライアル

監査報告書

私ども監事は、公益財団法人 内藤科学技術振興財団の2018年度（2018年4月1日～2019年3月31日）の監査を実施する為、理事会その他の重要な会議に出席する他、随時理事から事業に関する報告を聞き、重要な書類を閲覧するなど適宜必要と認める方法により監査した結果を次のとおり報告します。

1. 事業報告書の内容は真実であると認めます。
2. 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、正味財産予算・実績対比などの内容は正しくかつ適法であると認めます。
3. 理事の業務執行の状況及び財産の状況について、不正の事実は認められません。

2019年 5 月 9 日

監事 高岡 次郎



監事 寺根 秀雄



監事 瀬瀬 泰生

